

ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西 自然保護機構 会誌

32巻2号(通算60号)

シンポジウム特集 わかったつもりを問い直すー生物多様性って何？



2010年12月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

丹後半島・上世屋のフクジュソウ

写真・文 湯本 貴和

丹後半島の上世屋（かみせや）は、笹葺きの民家で知られる。かつては、民家をつくる大部分の材木は地域のもので、それぞれの部材に必要な樹種が得られるように人々は森林を管理してきた。上世屋で民家を解体して部材を精査したところ、建物本体はマツやクリ、スギやヒノキ、そして人目につく場所はケヤキの大径材が使われていた一方で、屋根の小屋組みはクリやコシアブラ、シデ類など付近の雑木林の組成とほとんど変わらない樹種でできていることがわかった。「上世屋の民家は里山の雑木林そのものだった」というのが、その調査の結論である。材木だけではない。日常の薪炭を得る場所、屋根を葺くチマキザサを採取する場所など、上世屋の人々は里山の利用とそれに伴う管理を細やかにおこなってきた。その細やかなモザイク的な土地利用が、多くの植物や昆虫の生息地をつくりだしてきたのである。いまでは葺き替えが思うにまかせず、笹葺き屋根の多くはトタンで覆われてしまったが、民家の脇には早春のフクジュソウが美しい花を咲かせていた。

写真：2007年2月27日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人々を幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。